

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	スポーツ科学科		科目区分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科目名	スポーツ社会学		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対象学年	1年生		学期及び曜時限	前期	教室名	401
担当教員	大久保 遥	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
われわれの生きる社会におけるスポーツの役割と意義について社会学の視点から考える。スポーツについて文化・地域・教育・福祉・政策・歴史などさまざまな側面から多角的にみる力を身につける。						
《成績評価の方法と基準》						
出席点(20%)・平常点(10%)・試験(70%)で評価する。試験では授業内容の理解度を問う論述問題を出題する。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
公益財団法人日本スポーツ協会Reference Book、公認指導者養成テキスト						
《授業外における学習方法》						
講義の内容を必ず復習すること。また、予習を課す場合もある。						
《履修に当たっての留意点》						
アスレティックトレーナー筆記試験の内容に関わることを念頭に置いて授業に参加すること。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	スポーツ社会学について学ぶ意義を理解することができる。	公益財団法人日本スポーツ協会Reference Book		講義の内容を復習し次の講義に備えること。
		各コマにおける授業予定	ガイダンス、社会のなかのスポーツ			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	スポーツと文化の関係を理解することができる。	公益財団法人日本スポーツ協会Reference Book		講義の内容を復習し次の講義に備えること。
		各コマにおける授業予定	文化としてのスポーツ			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	スポーツの社会的意義を理解することができる。	公益財団法人日本スポーツ協会Reference Book		講義の内容を復習し次の講義に備えること。
		各コマにおける授業予定	スポーツの意義と価値			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	スポーツとメディアの関係を理解し、スポーツ活動を広く見渡すことができる。	公益財団法人日本スポーツ協会Reference Book		講義の内容を復習し次の講義に備えること。
		各コマにおける授業予定	メディアとスポーツ: 観るスポーツ・聞くスポーツ			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	教育現場でのスポーツの意義と問題について考えることができる。	公益財団法人日本スポーツ協会Reference Book		講義の内容を復習し次の講義に備えること。
		各コマにおける授業予定	教育とスポーツ: 体育と部活動			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	スポーツ指導における暴力・ハラスメントの問題を事例から考えることができる。	公益財団法人日本スポーツ協会 Reference Book	講義の内容を復習し次回の講義に備えること。
		各コマにおける授業予定	暴力・ハラスメントの根絶		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	総合型地域スポーツクラブの意義について理解することができる。	公益財団法人日本スポーツ協会 Reference Book	講義の内容を復習し次回の講義に備えること。
		各コマにおける授業予定	地域とスポーツ:総合型地域スポーツクラブの社会的意義		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	総合型スポーツクラブの育成と運営について自治の視点から考えることができる。	公益財団法人日本スポーツ協会 Reference Book	講義の内容を復習し次回の講義に備えること。
		各コマにおける授業予定	スポーツの自治:総合型スポーツクラブの育成と運営		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	商業スポーツクラブの社会的な位置付けを理解することができる。	公益財団法人日本スポーツ協会 Reference Book	講義の内容を復習し次回の講義に備えること。
		各コマにおける授業予定	商業スポーツクラブの位置付けと課題		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	スポーツ組織について理解することができる。	公益財団法人日本スポーツ協会 Reference Book	講義の内容を復習し次回の講義に備えること。
		各コマにおける授業予定	スポーツ組織のマネジメントと事業のマーケティング		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	プロモーションとしてのスポーツ事業について理解することができる。	公益財団法人日本スポーツ協会 Reference Book	講義の内容を復習し次回の講義に備えること。
		各コマにおける授業予定	スポーツ事業のプロモーション		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	コーチングとジェンダーの関係について理解することができる。	公益財団法人日本スポーツ協会 Reference Book	講義の内容を復習し次回の講義に備えること。
		各コマにおける授業予定	スポーツとジェンダー		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	スポーツを通じた多様性のある社会への貢献について理解することができる。	公益財団法人日本スポーツ協会 Reference Book	講義の内容を復習し次回の講義に備えること。
		各コマにおける授業予定	スポーツとダイバーシティ		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	スポーツをする権利とスポーツトレーナーに期待される意義について考えることができる。	公益財団法人日本スポーツ協会 Reference Book	講義の内容を復習し次回の講義に備えること。
		各コマにおける授業予定	スポーツの価値を守るスポーツ権、スポーツと人権		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	社会学とスポーツトレーナー活動の関わりを理解することができる。	公益財団法人日本スポーツ協会 Reference Book	講義の内容を復習し次回の講義に備えること。
		各コマにおける授業予定	まとめ		